

秋のクマに注意！

秋は、クマがこれからの冬眠に備えて、食べ物を求めて活発に行動します。

これからの季節は、クマの活動が最も活発になる時期となることから、引き続き
嚴重な注意が必要です。

県では、これまでも市町村や報道機関等を通じて、注意を喚起してきたところ
ですが、クマの被害に遭わないためにも、以下のことに気をつけていただきたいと思います。
また、秋の山でのキノコ狩りなどでは、クマと出遭わないよう、次のこと
にご注意ください。

人里では、

◇カキ、リンゴ、ブドウなどのクマが好む果物を適切に収穫する。

(庭や畑にカキの木はありませんか？収穫の見込みのないカキの実などは、
放置しておくとうまく呼び寄せることがあります。早めに収穫しましょう。)

◇野菜などの収穫後は、未収穫のものを畑に残さない。

(畑の未収穫野菜の回収や家庭での生ゴミの管理徹底など、クマのエサとなるよう
なものを自宅や畑の回りに置かない。)

◇朝夕の外出時は、たとえ人家近くでも鈴、ラジオなど音が出るものを携帯し、 クマに自分の存在を知らせる。

(農作業は、なるべく複数で行い、朝夕の時間帯は避けて、たとえ自宅近くや玄関
先であっても外出の際は、鈴やラジオなどで音を出すようにしてください。クマは
聴覚や嗅覚が人より優れているため、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。)

山では、

◇入山地域のクマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。

(細心の注意をもって山に入りましょう。)

◇朝夕は山中に入らない。日中も自分の存在を知らせるために、鈴やラジオで音を出 すようにしてください。(クマは朝夕に活発に動きますが日中も気をつけてください。)

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

(近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからと近づいたりすると、
母グマは子グマを守ろうとして人を攻撃してることがあります。)

◇キノコ採りはほどほどに。

(足跡や糞などを見つけたら引き返しましょう。)

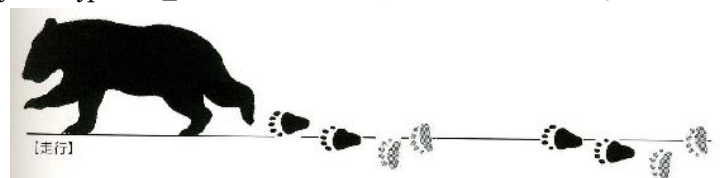
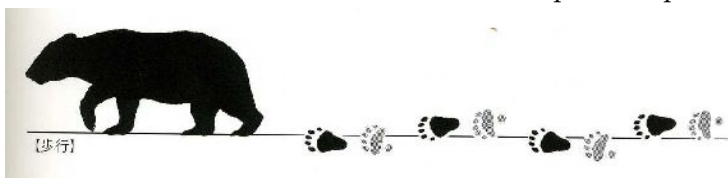
◇クマとの遭遇に備えて。

(頭部や顔面を守るためヘルメットの着用やクマ撃退スプレーの携行を！)

◆クマを目撃した場合やクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに地元市町村に連絡して
ください。

◆クマのこれまでの出没位置情報「クマつぶ」等について、

富山県ホームページ (http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1709/) で紹介しています。



【参考文献】米田一彦 (1996) 「山でクマに会う方法」, 米田一彦 (1998) 「生かして防ぐ クマの害」

今泉忠明 (+平野めぐみ) (2004) 「野生動物観察事典」